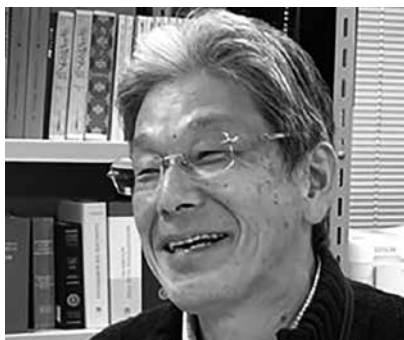


日本キリスト教連合会 会報



日本キリスト教連合会 常任委員

森山 信三 (カトリック中央協議会 事務局長)

苦闘を超えた先に目を向け

感染拡大が収まらない中、オリンピックが強行されています。確かに日本選手の活躍は、コロナ禍で暗い気持ちを抱えながら1年以上もこのような日々を送っている私たちにとって大きな光と希望の灯をもつことになるでしょう。同時に日々増え続ける感染者数に不安を覚えながら複雑な思いを抱くのは私だけではないと思います。感染症のパンデミックのみならず、自然災害も世界中で頻発しています。ドイツや中国の水害、北の国を襲った熱波、森林火災など、ここ1、2か月だけでも、気候変動による異常気象が世界中に広がっています。

聖書によりますと、神が創造された世界は「極めてよきもの」(創世記1・31)であり、人間はその被造物を保護するよう神から委ねられた存在です。しかし私たち人類は、この生命界全体に対して破壊的な存在になってしまいました。この地球規模の危機、感染症をはじめ頻発する災害は人為的なものであることを多くの科学者が指摘しています。であれば、私たち一人ひとりが小さなことから始めていく必要があります。私たちは何に気づき、どう行動することを求められているのか、その方向性を指し示すのは当然神の言葉でしょう。

イスラエルの民は、北イスラエルはアッシリアに、南ユダ王国もバビロンに滅ぼされ、祖国を追われることになりました。王は殺害され、神殿は破壊され国家存亡の危機にありました。時代が変わり祖国復帰をゆるされた帰還民が最初にしたことは、神殿を再建したこと、律法の編纂でした。つまりユダヤが消滅しなかったのは律法に立ち戻ったからです。私たち教会、神の民は今一度聖書に立ち戻り、これまでは異なる新しいあり方を模索する必要があります。

私たちキリスト者にとって、ともに集い、み言葉を聴き、神を賛美することは何よりも私たちの信仰生活の中心です。にもかかわらず、私たちは以前のように、ミサや集会をすることができなくなりまして。オンラインによる礼拝や信仰教育もなされていきますが、やはりともに集えない無念さが残ります。これからも当分の間、互いに交わることは難しいと思いますが、様々な通信手段で信徒の皆様とのつながりを今まで以上に深めることは可能でしょう。また、SNSなどを通じて福音を社会に発信していくこともできるでしょう。「世の秩序が覆っている」(詩篇11・3)のとき、新たな秩序を求めて、小さな一歩を踏み出していきましょう。

文化庁実施「宗教法人の行う事業に関する調査」について

日本キリスト教連合会 副委員長 滝田浩之（日本福音ルーテル教会）

この秋に実施が予定されている文化庁による調査について、事前の情報が届いておりますのでご案内いたします。ご協力をお願いいたします。

文化庁が二十年おきに行う、「宗教法人の行う事業に関する調査」がコロナの影響を調査するために今年度行われることになりました（前回調査から十年を経過したところですが、またさらに十年後の定期実施の調査は予定通り行われるとのこと）。

各宗教法人の規模、献金状況、信徒数などに続き、コロナの財務的な影響について、特に、各宗教法人の行う収益事業（駐車場、土地賃貸、その他）についての調査になります。日宗連としては、コロナを災害級の天災と位置付けており、今回の調査の結果を踏まえ、今後、被害が大きくなるとされる災害時の宗教法人の財務的な実態を把握しておくことは重要であり、協力する立場で、現在、質問事項等を文化庁と調整を進めています。

今年の十月頃から、調査協力の依頼があることと思えます。現在は日本全国のすべての宗教法人の十パーセント、包括法人についてはすべての法人、東京都と、もう一つの道府県について調査を行う準備が進められています。調査票が送られている法人は、ある意味で限られた法人となることから、届きました法人については、是非、ご協力頂きますようお願い申し上げます。

続報

厚生年金加入問題と 聖職者の労働問題について

厚生省は、国税局との情報共有の中で、宗教法人から雇用者に対して賃金が支払われている源泉徴収が行われているという理由で厚生年金への加入も当然義務であるという立場にある。もちろん5人以上（常勤）の従業員を抱える宗教法人は、これまでも厚生年金に加入してきた。よって問題になるのは、1〜4人（基本的には1人）を雇用する形で宗教法人を持つ単立宗教団体（宗教法人の60%強が年収300万円以下）である。

実際、厚生省が宗教法人に対して雇用の状況をつかめないでいるのは、4万法人となっている。日本宗教連盟と厚生省との話し合いで以下のところまで確認が行われている。①丁寧な調査を行うこと（実態の正確な把握）。②厚生年金加入はあくまでも推奨とすること（厚生省は「できる限り加入を求む」と表現）。③年金加入が本人の利益となることを丁寧に説明すること（高齢の聖職者にとって加入は負担増でしかない）。

具体的アクションとしては、①2021年度末までに、4万法人の実態調査を行うこと（関係法人に連絡の必要）。②調査内容を日本宗教連盟と共有し、あくまでも加入者の自発的な加入を促すこと。以上の経過となっている。

日本宗教連盟では今後、宗教法人業務と宗教活動の区分の考え方の整理をおこなう予定である。

秋の研修会

日本キリスト教連合会主催 第45回 法人事務・会計実務研修会

昨年はコロナウイルス感染拡大のため残念ながら実施を見送らざるを得ませんでした。何とか学びの機会をと願っていましたが、今年秋にオンラインで開催することにいたしました。初めての事でもあり戸惑いもありますが、インターネットという全国どこからでもご参加いただけるメリットを最大限に活かして、対面では味わえない学びのひとつを共にさせていただきたいと思っております。



Zoomを使用して行います。すでに多くの教団・教会で習熟しておられると思います。もし不案内な方がおられましたら、YouTubeに使い方の動画がたくさん掲載されています。事前に観ておかれると助けになると思います。Zoomは最新版をダウンロードしておいてください。



開催日時 2021年10月20日(水)／21日(木) 午前10時～12時35分

講座名 A：会計実務コース

2021年10月20日(水)

講師：長岡淳三氏

(9:30～10:00 入室)

10:00～10:15 開会の挨拶

10:20～11:40 講演(80分)

休憩(10分間)

11:50～12:30 質疑応答(40分)

12:30～12:35 閉会の祈り

講座名 B：法人事務コース

2021年10月21日(木)

講師：櫻井園郎氏

(9:30～10:00 入室)

10:00～10:15 開会の挨拶

10:20～11:40 講演(80分)

休憩(10分間)

11:50～12:30 質疑応答(40分)

12:30～12:35 閉会の祈り

参加費：1講座につき1,000円(事前資料代込み) 締切日：9月30日(木)

参加申込(メールアドレス必須です) 日本キリスト教連合会事務所に「Eメール」にて、別途お送りする案内チラシ裏面(申込要項)に従って、氏名、住所、電話番号、メールアドレス(必須)、所属を記載して申し込みを行ってください。また参加費の振り込みを行ってください。お振り込みを確認後、ZOOMのご案内をいたします。事前質問もぜひお寄せください。

▶9月30日(木)までにお申し込み、お振り込みをしてください。

担当：鮎川(soumu17@jelc.or.jp) 〒162-0842 新宿区市谷砂土原町1-1
03-3260-8631(電話)、03-3260-8641(FAX)



日本キリスト教連合会

News



日本キリスト教連合会としての取り組み

多くの懸念材料のある中で、信教の自由と平和を守るため、何よりも主の栄光が現されるため、活動します。

21世紀がこんなにもたいへんな時代になるとは、想像もできませんでした。被造物のすべてが共にうめき、苦しんでいるのを日々目の当たりにしています。現代にあって、平和を実現する教会となるために、互いに心を合わせ、祈りを合わせたいと思います。

2021年度の加盟教団・教会 分担金は 20%減額いたします

昨年に続いて新型コロナウイルスの感染拡大のために総会がネットと書面による開催になりました。一方で、秋の法人事務・会計実務研修会はオンラインで何とか実施すること

になりました。定例講演会も開催が困難な状況が続いております。活動自粛の状況を踏まえて、今年度の分担金を20%減額することにいたしました。ご協力をお願いいたします。

編集後記

コロナウイルス感染拡大の緊張が続いたまま一年が経ちました。状況は依然として厳しいまま、ワクチン接種が歯止めの役を果たせるのか不安は尽きません。そうした中ですが、オンラ

インで法人事務・会計実務の研修会を開催することになりました。残念ながら箱根の自然は味わえませんが、代わりに全国どこからでもご参加いただけます。常任委員会には新しいメンバーが加わりました。(編集担当 矢木良雄)

●日本キリスト教連合会役員 (2021年度)

- 委員長 大柴譲治 (日本福音ルーテル教会)
- 副委員長 滝田浩之 (日本福音ルーテル教会)
- 常任委員 中村幸嗣 (日本バプテスト連盟)
- 道家紀一 (日本基督教団)
- 矢萩新一 (日本聖公会)
- 広瀬 薫 (日本同盟基督教団)
- 本田勝宏 (日本アッセンブリーズ・オブ・ゴッド教団)
- 森山信三 (カトリック中央協議会)
- 矢木良雄 (イムマヌエル綜合伝道団)

▶日本キリスト教連合会の主な活動

- ・年6回の常任委員会
- 4月、5月、7月、9月、11月、2月(変更あり)
- ・年2回の定例会(例年は2月と9月に開催)
- ・法人事務・会計実務研修会(秋に開催します)
- ・「会報」を随時発行し、情報をお届けします

*日本キリスト教連合会へのお問い合わせは
162-0842
東京都新宿区市谷砂土原町1-1 日本福音ルーテル教会内「日本キリスト教連合会」へ。

